



日野療護園
フォーシーズンズ

東京都
社会福祉
事業団



Four Seasons

No.97

2023年1月27日

発行／編集：日野療護園 〒191-0034 日野市落川245-1 Tel 042-593-2421 Fax 042-593-0075 E-mail hinoryo@hinoryo.org HP <https://www.jigyodan.org/hino>

ラスト ヒノ LAST HINOフェス！ 開催特集！

11月19日に、LAST HINO フェス！を開催しました。令和5年5月に立川への移転が決まっており、正真正銘最後のHINOフェスでした。

最後ということもあり、3年ぶりに外部の方を呼んで開催しました。当初予定していた10月の開催が延期になったにもかかわらず、総勢100名以上の利用者様のご家族様や職員・利用者OB・OGの皆様、他福祉関係者の方々にご来園いただきました。改めまして、ご参加くださった皆様に心から感謝いたします。ありがとうございました。

さて、LAST HINO フェス！の内容はというと、いくつかの催し物を用意させていただきました。

始めは、ステージブースです。開会式から閉会式まで10演目以上ありました。

午前の部は利用者様のリサイタルからスタート。利用者自ら作詞作曲した、催し物のトップバッターにふさわしい勢いのある歌を披露してくださいました。ご本人曰く、「（反応が）サブかったね～、選曲間違えた！」とおっしゃっていましたが、毎年恒例の素晴らしい歌声でフェスの幕が開けました。続いて、日野療護園に初めてお呼びしたホクラニ（ウクレレのグループ）様の演奏もウクレレならではの音色で利用者様も拍手をしたり、歌と一緒に口ずさんだりして楽しまれていました。



その後には、職員による出し物を披露しました。くだおれ人形のコスプレや、職員がコスプレして流行りのキツネダンスを踊りました。BIGBOSSこと新庄剛志監督(?)と清宮幸太郎選手(?)が現れ、立川の移転を盛り上げて、午前の部が終了しました。



午後の部では、日野療護園開設当初に在籍されていた職員OBの方の貴重なお話や、個人的に一押し竹馬レース（自作のポックリでしたが…）を実施しました。職員が落馬したり、物凄いスピードで観客を驚かせたり、想定していた何倍も盛り上がりを見せました。



閉会式前のフィナーレイベントは、利用者様、職員、来園者で風船を持って、「せーの！」で風船を空に放つバルーンリリースを行いました。100個ほどの風船が一齐にリリースされた様子はとても綺麗で、その場にいた誰もがみとれていたと思います。



生製品ブースでは、利用者様が日中活動で作った生製品を販売しました。今年でいなくなってしまうかもしれない日野ピン君のタイルアートを利用者様に協力していただきながら完成しました。また、日野療護園に以前入所されていた利用者様が立ち上げた「おちかわ屋」様も出店し、自然食品や無農薬野菜などを販売していただきました。



そして、振り返りブースも作成しました。こちらでは、「府中療育センター闘争」の出来事や園の沿革と世の中の出来事をまとめた年表を掲示して、日野療護園の歴史を振り返ることが出来るコーナーや、利用者様と職員全員のコメントを写真とともに掲示しました。さらには、日野療護園にゆかりのある方から届いたメッセージの紹介など、思い出が大変詰まったブースになりました。ブースを見て、涙してくださる方もいて、素晴らしいものが出来上がったと思います。



建替えブースでは、今年5月に迫っている「立川療護園 はごろもの音」への移転について紹介しました。施設の完成図の模型や工事の様子、3Dのモデリングデータを用いて施設を紹介し、建替え検討委員会の職員から詳しい説明もあり、興味や関心が湧いてくるような展示で、非常に内容の詰まったものでした。来園したご家族の方や、OB・OGの方々も興味を持って見ていただきました。「立川療護園 はごろもの音」を知っていただき、移転へのイメージが湧く良い機会になったのではないのでしょうか。



毎年、行事・ボランティア部会を筆頭に、このHINOフェスを作り上げていますが、今回の行事・ボランティア部会は殆どが外部の方を呼んでのHINOフェスを体験したことがない職員で構成されていました。そのため、手探りの状態でのスタートとなりましたが、園全体で取り組み、外部の方にご協力いただき、無事に関催することができて、本当に良かったです。

残念ながら、HINOフェスは最後になります。少し悔いの残る気持ちもありましたが、最後のHINOフェスに関わることが出来て本当に良かったです。ありがとうございました！（記：松本）

「HINOフェス」にて歌って下さった利用者様の歌の紹介

『17歳の壊れた頃』



1. ずぶぬれになりながら割れた窓の向こう

さっきからお前黙ったまま
やがて星屑の夜に雨が頬を叩く
Wow wow wow wow
あれは 17歳の青臭い時代さ
あれは 17歳の青臭い時代さ

2. 傘を見つけても穴が開いている

光に変わる明日の勲章を灯に変えて
明日がそっと笑い出す灰色の空気を吸いながら
明日のかけらはやがてまだ見ぬ光に変わる
Wow wow wow wow
あれは 17歳の青臭い時代さ
煙草をくわえマッチで火をつける

3. 魂のかけらを拾い集めこごえそうな秋の風を受けている

明日のかけらをその手で拾い集め
胸の灯にそっと抱きしめる
Wow wow wow wow
あれは 17歳の青臭い時代さ